

所管事務調査報告書

委員会名	社会文教委員会
調査研究 テーマ	「フレイル予防による健康寿命の延伸」について
テーマ設定の 背景	<ul style="list-style-type: none"> ・健康寿命が延伸されることは誰しもが望むことである。 ・要介護の前段階でもあるフレイルは加齢に伴い様々な機能が低下するものの回復可能な状態である。 ・フレイル状態の予防は要介護の期間の短縮となり介護・医療費の抑制になる。 ・健康寿命の延伸にフレイル予防は効果的である。 ・令和3年度の行政評価、専門家による講義から飯田市においてフレイル状態の市民が多い、健康に関心を持つ人の割合が低いことがある。
調査研究の 経過・今後の 取り組み	<p>〔課題整理〕 健康寿命の延伸にフレイル予防の取り組みは飯田市においても効果的であると考へ、学術的知見の情報収集、フレイル予防を実践している先進地視察が必要と調査研究対象とした。議会報告・意見交換会において市民の意見も反映できればと考へた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フレイルの学術的知見の情報収集 ・フレイル予防方法の先進地視察 ・議会報告・意見交換会において市民の意見収集 <p>〔取扱経過〕 〔令和3年〕 7月20・21日 委員会（分科会）</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 7月20・21日 委員会（分科会）議会による行政評価(step1)：説明質疑 ➤ 8月3・4日 委員会（分科会）議会による行政評価(step3)：議員間自由討議による意見集約※議会による行政評価：説明質疑 ➤ 8月17日 委員会協議会 所管事務調査のテーマについて協議 ➤ 9月7・8日 委員会（分科会）決算認定審査を通しての質疑 ➤ 10月8日委員会協議会勉強会「フレイル予防対策とその評価について」 講師 日本福祉大学社会福祉学部社会福祉学科 一般社団法人日本老年学的評価研究機構 理事 宮國 康弘 氏 ➤ 10月15日委員会協議会 ・「健康寿命の延伸」をテーマに「介護フレイル予防」の調査研究に取り組むことを確認 ➤ 11月4日 飯田市介護予防事業等実態把握調査結果報告会(主催：長寿支援課)への参加 〔説明者〕 日本福祉大学社会福祉学部社会福祉学科 講師 一般社団法人日本老年学的評価研究機構 理事 宮國 康弘 氏 ➤ 11月29日協議会勉強会 ・市の介護予防事業の取り組みについて（長寿支援課）

所管事務調査報告書

調査研究の 経過・今後の 取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 12月10日委員会協議会 <ul style="list-style-type: none"> ・所管事務調査の進め方について協議 [令和4年] ➤ 1月21日協議会勉強会 <ul style="list-style-type: none"> ・所管事務調査にかかる実態把握、意見交換について協議 ➤ 4月20日管内視察 「南信濃福祉の里事業」他視察 ➤ 6月9日委員会協議会 管内視察の総括 ➤ 6月30日、7月1日管外視察 <ul style="list-style-type: none"> ・フレイル予防事業に関する先進事例視察 <千葉県柏市> <ul style="list-style-type: none"> 「フレイル予防事業」の取組について 「長寿社会のまちづくり～豊四季台プロジェクト～」の取組について <東京都北区> <ul style="list-style-type: none"> 「あるきたポイント事業」の取組について <東京都東大和市> <ul style="list-style-type: none"> 「東大和元気ゆうゆうポイント事業」の取組について ➤ 7月21日委員会（分科会）議会による行政評価(step1)：説明質疑 ➤ 8月2日委員会（分科会）議会による行政評価(step3)：議員間自由討議による意見集約 ➤ 8月3日委員会協議会 <ul style="list-style-type: none"> ・議会報告・意見交換会分科会の内容について協議 ➤ 8月17日委員会（分科会）議会による行政評価(step4)：選定した事務事業に関する説明質疑 ➤ 9月6日・7日協議会（分科会）決算認定審査を通しての質疑 ➤ 9月7日委員会協議会 <ul style="list-style-type: none"> ・議会報告・意見交換会分科会の運営について協議 ➤ 9月7日協議会勉強会 行政評価(step6)事務事業評価に対する説明質疑 ➤ 9月15日協議会勉強会 <ul style="list-style-type: none"> ・所管事務調査（管外視察）のまとめ、意見集約 ➤ 9月20日協議会勉強会 <ul style="list-style-type: none"> ・議会による行政評価(基本目標5・7・8及び選定した事務事業)の集約について協議 ・議会報告・意見交換会分科会の運営について協議（テーマを「健康寿命の延伸について」とすることを決定 ➤ 9月26日協議会勉強会 <ul style="list-style-type: none"> ・議会報告・意見交換会分科会の運営について協議 ➤ 9月28日～10月7日議会報告・意見交換会（7ブロック14会場で開催） <ul style="list-style-type: none"> ・テーマ：健康寿命の延伸について ➤ 11月9日協議会勉強会 <ul style="list-style-type: none"> ・議会報告・意見交換会で寄せられた意見の対応協議・共有 ➤ 12月9日協議会勉強会 <ul style="list-style-type: none"> ・所管事務調査提言書のまとめ方について協議 ➤ 12月23日協議会勉強会
-------------------------	--

所管事務調査報告書

<p>調査研究の経過・今後の取り組み</p>	<p>・所管事務調査に基づく提案書の素案について協議</p> <p>[令和5年]</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 1月26日委員会協議会 <ul style="list-style-type: none"> ・所管事務調査に基づく提案書の原案について協議 ➤ 2月9日委員会協議会 <ul style="list-style-type: none"> ・所管事務調査に基づく提案書の案について協議 ➤ 2月17日委員会協議会 <ul style="list-style-type: none"> ・所管事務調査に基づく提案書の案について協議 ➤ 3月3日委員会協議会 <ul style="list-style-type: none"> ・所管事務調査に基づく提案書の案の確認 <p>[調査研究結果]</p> <p>学術的知見の情報収集から</p> <ul style="list-style-type: none"> ・要介護の前段階でもあるフレイルは加齢に伴い様々な機能が低下するものの回復可能な状態であり、フレイルを予防するは健康寿命の延伸に効果的である。 ・フレイルは身体的フレイル、心理的フレイル、社会的フレイルと3つに大別される。 ・フレイルのリスク要因として、加齢、学歴、収入、コミュニケーションの希薄化などがある。リスク解消についてコミュニケーションの充実はいつからでも取り組むことができ、社会的フレイルの予防として重要である。 ・「約半数が健康のために『何もしていない』」と回答されている状況から健康意識に関心を持ってもらうことは重要である。 ・フレイル状態の予防は要介護の期間の短縮となり介護・医療費の抑制になる。 ・上記の情報は令和3年10月8日に実施した勉強会「フレイル予防対策とその評価について」によるが、委員の所感を「所管事務調査報告書_別紙1」として添付する。 <p>予防方法の先進地視察から</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フレイルの周知がフレイル予防の第一歩であり、周知することを市民を巻き込み予防メニューを展開していた。(サポーター制度、ポイント制度) ・フレイル予防への取り組みを進めた結果として、市民の健康寿命が延伸できたかどうかの効果検証は視察した先進自治体においても指標を設けた検証方法がまだ確立できていないとのことであった。 ・詳細な調査内容及び考察は「所管事務調査報告書_別紙2」として添付する。 <p>議会報告・意見交換会において市民の意見から</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「フレイルを知らない」あるいは「フレイルという言葉は高齢者に理解が進まないのでは」という声をいただいた。フレイルの周知は必須である。 ・フレイル予防の取り組みが健康寿命延伸に効果があるのではという委員会の提案について市民の皆様から一定程度の賛同が得られたと認識。
------------------------	---

所管事務調査報告書

調査研究の 経過・今後の 取り組み	[今後の取り組み] ・令和5年度当初予算でフレイルに関し予防教室、ポイント制度の予算が編成されたことから飯田市において健康寿命の延伸にフレイル予防の取り組みの必要性は共有できていると考える。今後、今までも行われてきた「高齢期の健康づくり」「介護予防(重症化防止)の推進などとも整合をとり、フレイル予防を構築することが重要である。 ・そこで、委員会での調査活動を踏まえ、課題解決のための提案事項を確認し、令和3年3月に関係部署に対する提案としてまとめた。
-------------------------	--